

## 議長コラムVol.8（令和3年末号）

「2021年を振り返り」

ここ数日、過去最強と言われる寒波が押し寄せた影響により、宮崎市でも朝から震える日となっています。

今年も残り僅かとなりましたが、宮崎市議会では、12月27日(月)、28日(火)に臨時議会が開催されることになり、仕事納めの日までバタバタとしています。

さて、今年もコロナに翻弄される年となりました。

特に、8月及び9月は宮崎市でも感染者が急増し、宮崎市職員も感染者が相次いだため、9月定例をどのように開催するか、又は開催出来るのか悩みました。

結果として、我々議員にとって神聖な場である議場への入場制限をかけ、30分おきの休憩をとるなど様々な対策を講じ、議員、市職員の協力の中、日程を変えることなく、無事に9月議会を終えることができ、関係者に皆様に心から感謝申し上げます。

また、コロナ禍の中開催された、東京オリンピック2020では、宮崎にゆかりのある選手の活躍に感動を頂き、宮崎においては、1年延期された国文祭・芸文祭が様々な制限がある中、7月3日から10月17日までの期間、無事に開催されたことに喜びを感じています。

そして、プロ野球において、宮崎市でキャンプをはるオリックスバファローズが25年ぶりにリーグ優勝を果たし、日本シリーズにおいては、敗れはしたものの接戦を繰り広げました。

来年こそは、オリックス、ソフトバンク、ジャイアンツが優勝争いを繰り広げ日本一になることを願っています。

市議会では、開かれた議会を目指し、28年ぶりに紙媒体での議会だよりが発行されるようになりました。



また、12月15日(水)には、議会報告会や市民アンケートなどを行うことができる議会DXの実証実験を行う

プロジェクトチームを結成し、宮崎市議会DXプロジェクトチーム、株式会社鉄肥社中、Gcomホールディングスの3者で「地方議会DX実証実験・研究にかかる連携協定」を締結しました。

実証実験スケジュールは、2月頃に学生等との実験を経て、4月頃から市民向けの実験を開始し、9月頃から検証・評価を行っていきます。

議会のデジタル化により、市民との新しいコミュニケーションの形を創出し、市民の皆様が見て・参加し・興味を持てる市議会をこれからも目指していきます！



来年こそはコロナが収束し、誰もが笑顔で交流できる日常になることを願いますし、宮崎市、宮崎市民の皆様にとって、輝かしい年になることを御祈念申し上げます。